

高校生と大学生が映像制作で一つに。 サマースクールでひと夏の思い出。

8月22日・23日に、江戸川大学で映像制作サマースクールが行われた。ここでは高校生が映像を学ぶだけではない。教える側の大学生も様々なことを学んでいた。(文・写真: 片田正記)



(上) 映像を学ぶ高校生と、それを教える内藤和明教授(画面中央)。サマースクールは終始和やかな雰囲気で行われ、映像制作を楽しみながら学んでいた。(右下) アシスタントを務めたマス・コミュニケーション学科4年の五十嵐健太さん。(左下) サマースクールの参加者には内藤教授から修了証が手渡された。



参加した高校生は、「知らなかったことがわかり、勉強になりました。将来僕も映像を学びたいと思っていたので、やりたいことを確認することができた」といい体験になりました」と明らかに話した。

アシスタントを務めた4年生の五十嵐健太さんは、「4年間映像について学びましたが、高校生たちに教えてみてあやふやな部分の色々とありました。それを確認出来たので、自分の勉強にもなりました。初対面の人に分かりやすく教えるのは難しかったです」。教わる高校生だけではなく、教える大学生も充実した時間を送った。

2日目午前中は、前日に引き続き映像編集を学んだ。午後にはこれまで学んだ知識を生かし、3分間のショートムービーを制作した。題材は学園祭でおなじみの「内藤ゼミのお好み焼き」。映像の台本・構成などを高校生達が一から考えて、楽しみながら映像を制作した。映像そのものはこの日のうちに完成とならなかったもの、どの高校生たちも充実した2日間を送った。最後に内藤和明教授の講評と、サマースクールの修了証が手渡された。

学生記者募集!

学生記者クラブは、学内外のイベントや、部活動、サークル活動などを取材します。

記事は「江戸川大学学生新聞」として発行するだけでなく、ウェブにもアップして世界に向けて発信していくプロジェクトです。

「Journalism」とは「発見や感動を相手に伝えること」。あなたもジャーナリストになろう!

N棟1階の受付にお気軽に声をかけてください。連絡先: TEL(04-7152-9908)E-mail(kouhou@edogawa-u.ac.jp) 企画総務課